

静岡県砂防治水協会が立山砂防管内を視察！



日本の砂防の原点である『立山の砂防』を知りたいという熱い思いから、全国治水砂防協会静岡県支部の関係者一同（須藤秀忠富士宮市長（視察団長）ほか、首長13名）が立山砂防事務所管内を視察されました。砂防設備で平成21年に全国で初めて重要文化財に指定された白岩砂防堰堤や、その後平成29年に重要文化財に追加指定された泥谷砂防堰堤群、本宮砂防堰堤を中心に視察され、富山平野を守るために人里離れた山奥地（天涯）で現在も着々と進められている歴史ある立山カルデラ内の砂防工事の説明や、厳しい自然環境について熱心に聞き入っておられました。

開催日：令和5年8月25日（金）

場所：立山砂防事務所管内

- ・本宮砂防堰堤
- ・天涯の湯
- ・白岩砂防堰堤
- ・立山温泉跡地、どじょう池
- ・湯川第12号砂防堰堤
- ・泥谷砂防堰堤群
- ・多枝原平展望台
- ・天涯の水 他

参加者：21名（事務局含む）



重要文化財の説明（白岩砂防堰堤）



白岩砂防堰堤



視察団長：須藤秀忠富士宮市長
立山温泉跡地で記念撮影



本宮砂防堰堤



工事現場（湯川第13号砂防堰堤）



泥谷砂防堰堤群（泥谷橋より）



幸田文の文学碑と大鷲・小鷲崩れ（多枝原平展望台）



心のかけ橋

全国砂防治水協会とは？

砂防に関する必要な方策を考究するとともに、広く国民に砂防に関する認識を深め、砂防の促進により国土の保全及び土砂災害の防止を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする一般社団法人。全国に都道府県支部があり、会員は約1,500名。

主な事業内容

- ・砂防関係事業の拡充・促進についての活動
- ・砂防に関する意見交換
- ・砂防に関する調査研究の実施
- ・砂防に関する国際間の技術交流の推進
- ・砂防技術向上のための講習会及び研修会の実施
- ・土砂災害防止に対する意識の高揚を図るための広報・啓発活動
- ・砂防関係図書の発刊
- ・砂防関係資料の収集・保管
- ・情報提供
- ・学会等の関係団体への参加協力・支援
- ・砂防関係事業の推進及び本協会の発展に対して功績のあった者の表彰